

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Lend a Hand

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570



ガバナー月信

No. 3

2003.09.01

# GOVERNOR'S MESSAGE

『新世代のための月間』に寄せて

## 未来のためのプログラム



ガバナー 高山 孝

### 新世代委員会

21世紀を担う若者の育成は国際的な課題です。同時に青少年の模範がロータリアンでなければなりません。ロータリアンの責務は年齢30歳までの若い人に対して新世代の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なるものにするため、生活力を高め、時代に適応させることです。

新世代プログラムには、青少年交換、ローターアクト、インターアクトが含まれます。

#### 《青少年交換》

青少年交換に最も求められている国際理解と親善、国際交流の役割を果たしています。不況期にある現在、ホストファミリーの確保が困難になっており、再検討が必要だと思われます。

- ① クラブ受け入れ体制、少人数クラブ
- ② 来日学生の個人情報
- ③ 受け入れクラブ、負担金
- ④ 通学させる学校

#### 《ローターアクト》 18歳～30歳

多くの方が成人しており、すぐに21世紀を担う人たちです。ローターアクトの人数が減少してきています。強くロータリーの奉仕の理想を推奨せねばならないのです。ローターアクターは、ロータリークラブの仲間です。入会が一番求められます。

#### 《インターアクト》 14歳～18歳

最も感受性の強い、中学生、高校生が対象です。高校生活と調整して、学校の規則との兼ね合いが重要なファクターです。最近では、15歳以

下の組織の動きもあります。

ロータリーの中では、相手の立場を思いやる精神が大切とされます。

これは教育によって生まれ育つものだと思います。日本人の若者が国際的にはどう評価されているのでしょうか。

**ローターアクト**：155の国・地域で純増105クラブ、総数7,482クラブ。ボスニア・ヘルツェゴビナと英領ヴァージンアイランドに新クラブが結成され、全世界で8,033のロータリークラブがスポンサーとなり、推定会員数は17万2,086名です。新クラブ創立は、アジアと太平洋地域に62、欧州とアフリカで28、ラテンアメリカが21、アメリカとカナダが21です。

2003年3月13日に創立35周年を迎えました。

**インターアクト**：純増90クラブ、111国に総数8,783クラブ、全世界で6,964のロータリークラブが提唱ロータリークラブとなり、推定会員総数は20万2,009名です。新クラブ創立は、アジアと太平洋が62、アメリカとカナダが58、ラテンアメリカとカリブ海諸島が13、欧州とアフリカが8です。

2002年11月5日に創立40周年を迎えました。

### ロータリー特別月間（2002 VOL.50 NO.12 ロータリーの友より）

#### 9月 新世代のための月間（New Generations Month）

1996 - 97年度から、従来の「青少年活動月間」の名称が変わり、「新世代のための月間」となりました。年齢30歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に、焦点を当てる月間です。

クラブと地区は、新世代の基本的ニーズ、すなわち健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するように要請されています。

## 2003 - 04 年度 R I 実行グループ目標

### ロータリアン家族

1. すべてのクラブが、さらに効果的にロータリアン家族の概念を発展させ、応用させることができるようにする。ロータリアン家族は、以下を助ける。
  - ・ 会員の維持、増加
  - ・ 成功を収める奉仕プロジェクトの実施
  - ・ ロータリー財団への支援
  - ・ クラブ・レベルを超えて奉仕できる指導者の育成
2. 地区やクラブのロータリアン家族委員会が、地区やクラブにロータリアン家族の概念を取り入れるのを支援するために、資料や情報源を提供する。
3. すべてのクラブが、2003 - 04 年度会長賞に向けて活動するよう確認する。

### 識字及び教育

1. 集中言語能力助長プログラム (CLE) の識字率向上プロジェクトを引き続き強調する。
2. 2003 - 04 年度中に開始及び終了する、より小さなプロジェクトに重点を置く。(例、現物拋出情報ネットワーク、本の寄贈、コンピューター等)
3. 費用がかからず、専門の講師や教師を必要としないような、地元レベルの識字率向上プロジェクトを模索する。
4. 識字率向上と零細企業などの小規模な自助企業(村の銀行、回転ローンプロジェクトなど)を組み合わせ、 「手を貸そう」活動を確立する。
5. 女性の教育及び恵まれない人々(路上生活児童、難民、移民、受刑者など)の識字率を向上させることの重要性を強調する。

### 保健問題

以下の各問題分野に焦点を当てることにより、重要な保健問題への意識を喚起し、世界各地の地域社会で新たな保健プロジェクトを創始するよう、会員にやる気を起こさせる。

1. 世界ポリオ撲滅 — 世界的なポリオ撲滅に向けての支援活動
2. HIV/エイズへの認識を高めるための教育 — 世界中でHIV感染の危険にさらされている人々の数を、教育プログラムを通じて減らす方法を検証する。その際、奉仕する特定地域の文化風習に合わせる。
3. 水処理及びきれいな水の提供 — 疾病や死亡を予防するために、安全な水を確保するための活動を支援する。
4. 出産前後の手当及び栄養 — 母親や新生児ができる限り健康で、幸せな生活が送れるよう推進する。
5. 小児疾病に対する予防接種 — ジフテリア、百日咳、破傷風、水疱瘡、結核、その他地区特有の疾病など、小児疾病に対する児童のための予防接種を奨励する。

### 貧困緩和

1. 世界中のロータリークラブに、地元地域や世界中の地域社会における貧困を緩和するために、「手を貸す」よう奨励する。
2. 教育、保健、経済、自己啓発などのクラブ・プロジェクトを奨励、支援することを通じて、女性や少女の育成に「手を貸す」。
3. 地域社会における奉仕で、現在クラブが実施している人道的奉仕活動を奨励、表彰する。

## 9月『新世代のための月間』に寄せて

### 新世代が真に求める支援を

新世代部門担当諮問委員

パストガバナー 寺山栄一（深谷東RC）



ロータリー活動に焦点を当てるために、RIでは、特に9月を新世代のための月間に指定しています。そして、その指針は

- ①青少年向け職業相談の開催
- ②青少年交換計画の公表
- ③会員の事業所の見学に青少年を招待
- ④例会プログラムに青少年を参加させる
- ⑤学生への経済的援助
- ⑥レクリエーション・プログラム、IAC、RACとの協同奉仕活動

など、極めて広範囲にわたるものとなっています。

しかし、新世代（30歳未満）の若人の基本的ニーズは、私たちの考えていること（共育＝一緒に学ぶ）と遊離していると思います。例えば、情報源一つを見ても、私たちは活字を信頼し、活字を求めて行動してきましたが、彼らは情報洪水の下で、過保護に育てられ、活字のみならず、映像、音、メール等多種多様の伝達手段を駆使し、ネット社会で自我を構築しています。

こうした時代に、私たち日本のロータリアンが過去を追うプログラムを「金科玉条」とするのではなく、新世代が真に求める新しい支援を勇氣をもって各クラブは行うべきだと思います。

### 若者たちとの交流を深めていきたい

新世代部門委員長

郷家正和（坂戸RC）



新世代月間に当たり、ご挨拶申し上げます。次代を担う若者たちへの教育問題は多分、有史以来大人たちを悩ませてきた問題ではないでしょうか。答えは出ているのでしょうか、いや私たち人類が存在する限り、これといった答えは出ないかもしれません。

ロータリーも創立以来、積極的にこの問題に取り組んでまいりましたが、先の規定審議会で「新世代部門」として独立した部門を設け、その姿勢をさらに明確化致しました。

ますます多様化する社会のニーズ、混沌とする社会情勢、将来展望への不安、いつの時代にも

あったことかもしれませんが、近年その傾向は一層深まっているように思えます。

このような時代だからこそ、我々ロータリアンは、各自の職業を通じて、またその存在を通して彼らの先達にならなければなりません。

新世代部門は、ローターアクト、インターアクト、青少年交換、ライラの4委員会構成される最大の部門です。従来より諸先輩の築かれてきた各事業を継承しつつ、さらに研究を重ね、若者たちとの交流を深めていきたいと思っております。地区内会員も皆様方の積極的な事業への参加、また各種のご提言等をお待ちしております。

## 時代にマッチした柔軟な対応

ローターアクト委員長  
滝澤常昭 (深谷 R C)



最近、頻繁に青少年犯罪のニュースがマスコミに登場します。しかも小学生にまで問題が及んできており、私たちロータリアンには想像もつかないスピードで犯罪の低年齢化が進んでいるように思われます。

これは家庭や学校の教育問題、さらには複雑化した社会環境とも相まって非常に根の深い厄介なテーマとなりつつあります。

この青少年育成問題に関しては、様々な社会的奉仕団体が存在し活躍されているのも事実です。我がロータリークラブも「新世代部門」を通じて、この分野では以前から積極的に活動して

おります。

しかし残念ながら現在「ローターアクトクラブ」は前号にも掲載して頂いた内容のとおり、様々な事情から、その活動は低調を極めております。

ローターアクトクラブの衰退が新世代の犯罪の増加に直結しているとは申しませんが、青少年の奉仕活動に対する意識の低下は、他の組織でも同様で大変気になるところです。

「新世代」に対してのロータリーの取り組み方は年々変化しておりますが、今後も時代にマッチした柔軟な対応が肝要かと思えます。

## 人類が永遠に繁栄するために

インターアクト委員長  
田中博兼 (熊谷 R C)



1962年国際ロータリー、ラハリ会長の指導のもとに日本で最初にインターアクトクラブができたのは、仙台の仙台育英高校であり、その2年後の1964年に第2570地区の東松山ロータリークラブ提唱の県立松山高校にインターアクトクラブが誕生致しました。

インターアクトクラブはロータリー活動の一環として R I から提唱され、世界一の団体だと私は思います。

人類が永遠に繁栄するためには、第1に住みよい社会、第2に平和な社会、第3に奉仕の社会、第4に国境を越えての国際社会、これらの奉

仕活動を青少年らしく活動していくクラブが必要だと思えます。

インターアクトクラブは「地域社会に奉仕し、国際理解に貢献する青少年のため」に国際ロータリーが提唱し、年齢14～18歳までの青少年が入会できるのです。

本年度もいろいろなプログラムがありますが、その都度参加して頂き、新世代月間に寄せる言葉と致します。

## 9月『新世代のための月間』に寄せて

### さらなるご理解とご協力を

青少年交換委員長

山崎 嘉正 (川越RC)



青少年交換委員会は去る7月26日に開催された第34期派遣候補生選考試験において、5名(すべて女子)の高校生を選考しました。その後派遣候補生は1年後の派遣に向けて約10ヵ月、計12回の研修(オリエンテーション)を受け、ロータリーの青少年交換学生としてふさわしく、さらに民間親善大使の役割を果たせるよう目的や意義、心構えを習得致します。

また来日学生については2003-04年の来日が6名(1月来日2名、8月来日4名)です。国別は、アメリカ3名、ブラジル2名、オーストラリア1名で、ホストクラブの皆さんのご協力によ

り、毎日楽しく生活しております。国や地区が違えば、来日学生のこのプログラムに対する意識はまちまちで、対応に苦勞をされることもしばしばあります。しかしロータリアンをはじめ来日学生を取り巻く人々が互いに協力し、日本での良い経験や思い出をお土産として自国に持っていけるよう、誠心誠意努力されておられる姿に、委員会としても心から感謝致しております。

いよいよ8月23日の開講式に始まり、委員会活動は本格化してまいります。どうぞロータリアンのさらなるご理解とご協力をお願い致します。

### 青少年の指導者を育成

ライラ委員長

山田 晃 (行田RC)



ロータリー青少年指導者育成プログラムは14歳から30歳までの指導者および将来指導者となる青少年のための養成プログラムです。

青少年が人生の重大な決断を下す際に援助の手を差し伸べ、若い指導者たちを有望な方向に導き、指導者としての可能性を活かす最良の方法を見分けるビジョンを提供しようと思います。

ライラの目標は：

- 1) ロータリーが青少年を尊重し、青少年に関心を抱いていることを一層明らかにすること
- 2) 選考した青少年指導者及びその素質のある人に実施訓練を体験させ、責任ある有能なボラン

ティア青少年指導者となる方法を身につけるよう激励、援助すること

- 3) 青少年による青少年への絶えざる、力強い指導を奨励すること
- 4) 青少年指導者として地域社会に尽くしている多数の青少年の優れた資質を公に表彰すること

ライラは主要なロータリー青少年活動であるとともにローターアクトクラブとインターアクトクラブの結成や強化にもつながり、ロータリアンはライラを通じて手を貸すことができます。

# 明るく 楽しく 元気 なロータリー 有意義だったクラブ奉仕部門セミナー

クラブ奉仕部門委員長 中山恵詞



「第1回クラブ奉仕部門セミナー」が去る7月12日に坂戸市コミュニティセンターで開催され、各クラブの会長、退会防止・増強、情報の担当委員長、正田ガバナーエレクト、ガバナー補佐のご出席を頂きました。家族委員会の砂生みゆき委員が進行役を務め、花が咲いたように明るい雰囲気の中で進められ、田中一郎クラブ奉仕部門担当諮問委員のご指導のもと成果を上げました。

高山ガバナーによる点鐘、国歌・奉仕の理想の斉唱、高山ガバナーが講演をお願いしたR1第2ゾーンコーディネーター渡邊守人バスターガバナーほか来賓紹介。高山ガバナー、クラブ奉仕担当諮問委員田中一郎バスターガバナー、クラブ奉仕部門委員長中山恵詞から「会員が減少している中で、クラブ運営にも大変困難な

局面が考えられ、ご苦労が多いかと思いますが、ロータリー発展のために、次世代のロータリーが健全であるように、目標を達成して頂ければ幸いです」等のあいさつがありました。

さっそく、小久保委員長から講師が紹介され、渡邊コーディネーターから「会員増強について」講演がありました。その中で、会員は世界的にも日本でも減少傾向にありますので、退会防止と増強の対応などについて有意義なお話を頂戴しました。

## 中山恵詞クラブ奉仕部門委員長

①今年度はロータリー家族委員会を新たに設けたことです。クラブ活動に家族、知人、配偶者、特に女性の方にできるだけ参加を頂きましょうということで、ロータリー女性会員にターゲットを当てまして、家族委員会に地区では初めての女性役員3名をお願いして、関副委員長を中心に活発な活動を展開しています。地区には



51名の女性会員がおりますが、8月30日には女性会員の意見交換会が計画されています。

- ②8月は増強退会防止月間です。会員減少傾向の中で、当地区では牛窪年度に2,323名でスタートしましたが、6月末現在で107名が退会して、2,216名になりました。退会防止は、増強と同じくらい重要です。退会防止と増強にご協力をお願いします。
- ③読みやすく、ためになる会報づくり。コンクールで、ガバナー賞を予定しています。ぜひ挑戦して下さい。

## 小久保富夫増強・退会防止委員長

- ①退会防止には第1に家族の理解が重要。
- ②例会を楽しく、バラエティーに富んだ卓話が大事だと思います。
- ③女性会員の増強に力を入れます。
- ④クラブ協議会で会員増強の可能性のある方法を探します。

関靖子家族委員会副委員長

①女性のニーズにこたえるロータリー活動を行います。女性ロータリアンに、地域社会、地区、国際レベルで他の女性会員と親睦を培い、経験を語り合い、女性の入会を増やし、女性のニーズにこたえるプロジェクトを増やす。男女は競争するのではなく、互いに助け合うことが大切だと思います。家族委員会の活動はR I 会長賞の対象となります。

栗山昇ロータリー情報委員長

- ①当地区ロータリー情報委員会として各クラブに対し、月1回の例会においてクラブロータリー情報委員会が中心となり、ロータリー情報の周知徹底化を。
- ②ロータリークラブを運営するに当たり最低限クラブ定款・細則の活用を期待します。
- ③ロータリー情報いろは問答でロータリーの三大義務などロータリアンとして知っていかなくてはならない知識を解説された。

ロータリー情報いろは問答

1. クラブ定款はクラブの会合〔例会等〕決議で、いつでも変更できる。
2. 会員の種類は、正会員、名誉会員、シニア会員の3種類である。
3. 名誉会員の任期は、1年ごとに理事会の決議で決定する。
4. ロータリーの規定上の三大義務とは、会費の納入、例会出席、ロータリー財団の寄附である。
5. クラブは、ビジターに対し必ずメイクアップカードを発行しなければならない。
6. 連続4回例会に出席せずメイクアップもしない場合には自動的に会員の身分は、終結する。
7. クラブ奉仕委員会やクラブの奉仕プロジェクトに出席した会員は、メイクアップになる。
8. 85年規定の適用者は、自動的に出席規定の適用を免除される。
9. クラブ理事会の会合に出席した会員は、メイクアップになる。
10. 本クラブの例会に出席したものとみなされるには、例会に充当された時間の少なくとも60%は、必ず出席しなければならない。

※正しいですか、正しくないですか、どちらでしょう。

2003年7月12日 R I 第2570地区ロータリー情報委員会作成

答えはすべてNOです

ロータリアンであることの意識

2003 - 04 年度 R I 会員組織

第2ゾーンコーディネーター 渡邊守人

(RID2620 甲府南RC)



ロータリーに新風を／田中一郎パストガバナー  
ロータリーの忘れ物／高山孝ガバナー

ロータリーの友7月号「新ガバナー紹介」の記事を読み、お2人の論理的な説得力ある文章に心動かされました。

拡大・増強・退会防止も、個人個人のロータリアンとしての自覚が大切であり、意欲・情熱が不可欠なのです。

「ロータリークラブは、奉仕をする団体ではなく、奉仕する人々の集まりである」という理念、そして「奉仕の理想」の意味は、「自分がしてもらいたいと思うことを、他人にもしてあげなさい」ということであります。

この哲学の再確認からすべてが始まると思います。



# 第1回職業奉仕研修会が開催された!!

職業奉仕部門委員長 橋本正彦

去る7月12日(土)朝霞市民会館において、出席者104名で開催されました。

出席者は大きな感動をお持ち帰り頂いたと思いますが、参加されなかった方のために“紙上ミニ研修会”を開催しますので、ぜひお読み下さい。

挨拶：第2グループガバナー補佐 浅田 光二

職業奉仕の真髄は、1989年に規定審議会が採択したロータリアンの職業宣言に凝縮されていると言ってよいでしょう。『手続要覧』を常に身近において「活字離れ」を防ぐ努力が、あなたに職業の品位を保ち最高度の倫理的基準を推進する活力を与えてくれるはずです。

講演：経済アナリスト 竹井 巖(上福岡RC)

今年度は職業奉仕、橋本正彦部門委員長の肝いりで「職業奉仕はロータリーの原点である」との強い信念のもとに、例年とは事を異にした方針を打ち出しました。平成不況の真っ只中「何とかロータリアン企業に元気になってもらいたい」との一念で「竹井君一つ力を貸してくれ!!」そんな強い熱意が私に向けられ、私も同じ問題意識を持っていたので協力を約束しました。

現在の好不況は、70年前1930年代全米で経験した状況と同じ性質で、そのときロータリアン企業がどう乗り切ったのかを検証することは、今日の我々に大きなヒントになるであろうと考えました。そして、アメリカ経済復興の大きな起爆剤になったのが「企業倫理」と「顧客への貢献」を主眼に置いて、本物の経営をしたロータリアン企業たちであったのです。

一例を挙げると、世界的にも有名なジョンソン&ジョンソンという企業があります。この大企業にとって大きな試練となったのが、1982年タイレノールという鎮痛剤のカプセルに、何者かが小売店の店頭で毒を入れ、5人が亡くなった事件です。これに対し同社は、即座に全米に新聞広告で謝罪し、商品の回収と被害者に対する補償を決めました。同社に過失が無いことが明らかになったにもかかわらず、テレビを通じての商品回収の告知や補償に300億円近い費用がかかり、会社は厳しい局面を迎えましたが、従業員が「俺たちは会社の行動を支持する」として進んで献金に応じたのです。

企業の正しい行動によって、全米の消費者から「信頼」という評価を得たのです。21世紀は「日本の時代」と私は信じています。企業倫理を踏まえ「本物の経営」をして頂きたいと考えています。



講評：職業奉仕部門担当諮問委員 大館 清次

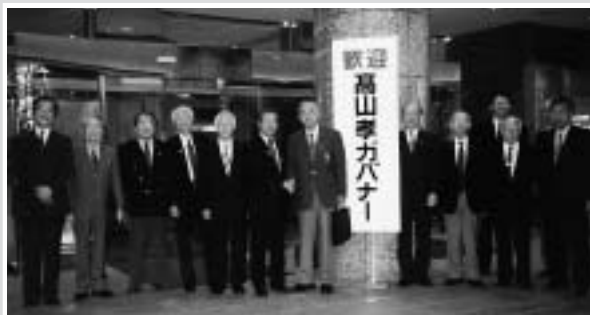
経済不安が日常的に迫ってくる昨今、この度のセミナーは実に時宜を得た計画でありました。これを企画実行された橋本委員長に心から敬意を表します。また、竹井講師の豊富なご経験と研究に基づくご講演には一同深く感銘を覚えました。この成果が、熱心に研修された各位の職業に反映されますようお願い申し上げます。

# ガバナー公式訪問報告

## 川越ロータリークラブ 会長：井上實 幹事：小谷野和博 会員数：88名

7月8日（火）／川越プリンスホテル

川越RCは地区内で一番古く「歴史と伝統のクラブ」と言われています。さすがに各委員長は、R I 会長やガバナーの方針をよく理解して、方針や具体的活動を企画しておりました。



残念なことは、3年未満の会員のクラブ協議会への参加が少なかったことでした。年度始めですから勉強になりますし、出席に協力するよう働きかけることも必要でしょう。

今年度のクラブの重点的活動、いわゆる目玉を明示できるとさらによかったと思います。

第1グループガバナー補佐 可児一男

## 熊谷東ロータリークラブ 会長：萩原孝之 幹事：斎藤勝治 会員数：42名

7月9日（水）／熊谷流通センター組合会館2F

午前10時30分から会長・幹事との懇談、続いて新入会員3名との面談、そして例会、クラブ協議会と盛りだくさんの日程で、少々疲れたが大変充実した公式訪問であった。

活動計画では、長年市民を巻き込んで進めている環境保全活動、希少植物「くまがい草」の育成や新世代奉仕の青少年剣道大会が継続実施されるほか、財団や米山に対する協力も秀でており、正にバランスのとれたクラブである。ロータリー家族委員会も位置づけられた。

第5グループガバナー補佐 小林熊二



## 熊谷ロータリークラブ 会長：太田洋 幹事：染谷政示 会員数：85名

7月11日（金）／埼玉りそな銀行 熊谷支店4F



会長・幹事の懇談には、清水・本塚両バスターガバナーが姿を見せられ、高山ガバナーへの期待の大きさを感じさせた。また、新入会員の面談には9名が出席してガバナーの話に熱心に聞き入る姿に頼もしさを感じた。

会長の運営方針は、50年プラス1のクラブづくりと非常にしっかりしているほか、I A C 育成や禁煙運動及び汚染されつつある水問題への取り組み、並びに世界寺子屋運動への参加計画等すべてに目が届き歴史の重みを感じた。

第5グループガバナー補佐 小林熊二

**飯能ロータリークラブ** 会長：中里昌平 幹事：大附富義 会員数：55名

7月16日（水）／飯能プリンスホテル

第3グループ飯能RCの公式訪問例会が7月16日、飯能プリンスホテルにて、高山ガバナーをお迎えし行われました。飯能クラブは本年創立40年を迎えるクラブで、第15代の会長であり、チャーターメンバーの細田徳二郎会員をはじめ、18名のパスト会長が在籍する会員数55名のクラブです。

今年のテーマ「手を貸そう」を合い言葉に、全会員仲良くクラブライフを楽しんでおります。

第3グループガバナー補佐 吉田 健

**深谷東ロータリークラブ** 会長：卜部一男 幹事：塚原達男 会員数：73名

7月18日（金）／埼玉グランドホテル深谷



「親睦の深谷東」と自負されているクラブへの公式訪問だった。卜部会長の綿密な計画と、塚原幹事の着実な準備で、寺山PG、下妻元地区幹事をはじめほとんどの会員が出席。会長幹事とガバナー及び補佐の4者面談は忌憚のない意見が交わされ、入会3年未満会員との懇談も新鮮な発言が続き陪席した会長にも大いに参考になったようだ。

例会は大庭SAAの軽快な進行で順調、特に斉藤スマイルBOX委員長長のユーモア溢れる紹介が秀逸。クラブ協議会も十分に練られた計画の説明と質疑で、和気あいあいの中に終始した訪問だった。

第4グループガバナー補佐 浅田 進

**深谷ロータリークラブ** 会長：小暮幸弘 幹事：岡野一好 会員数：75名

7月22日（火）／埼玉グランドホテル深谷

さすがに伝統の深谷である。市民や団体を巻き込んだ長年にわたる「唐沢川の桜並木植栽と整備」の地道な活動は地域社会に溶け込んだ奉仕活動の典型であろう。小暮会長、岡野幹事との面談は正田年度への準備や運営等々多岐にわたる意見交換がなされた。女性を含む新入会員とガバナーの対話も新人の活発な発言とガバナーの助言が、会になじむ自信と勇気を与えたことだろう。

例会での数字を基にした飢餓・文盲・病気への「手を貸そう」の卓話は感銘を与え、さらにクラブ協議会ともども発言者の着実な発表は伝統をしのばせるものであった。

第4グループガバナー補佐 浅田 進

